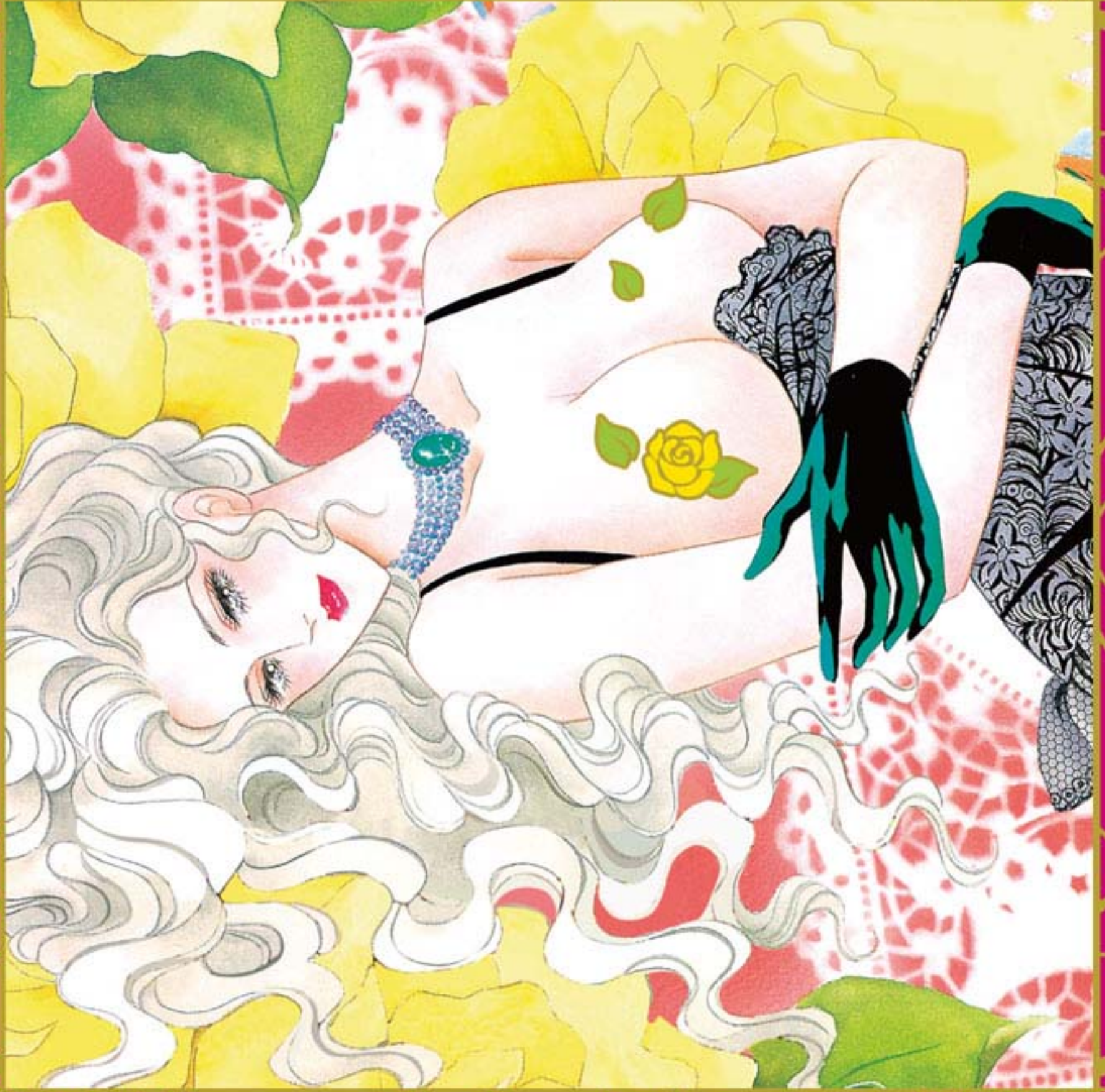


星合操  
官能の美学

星合操



美獣の食卓



彼が  
パーティーに  
誘ってくれた

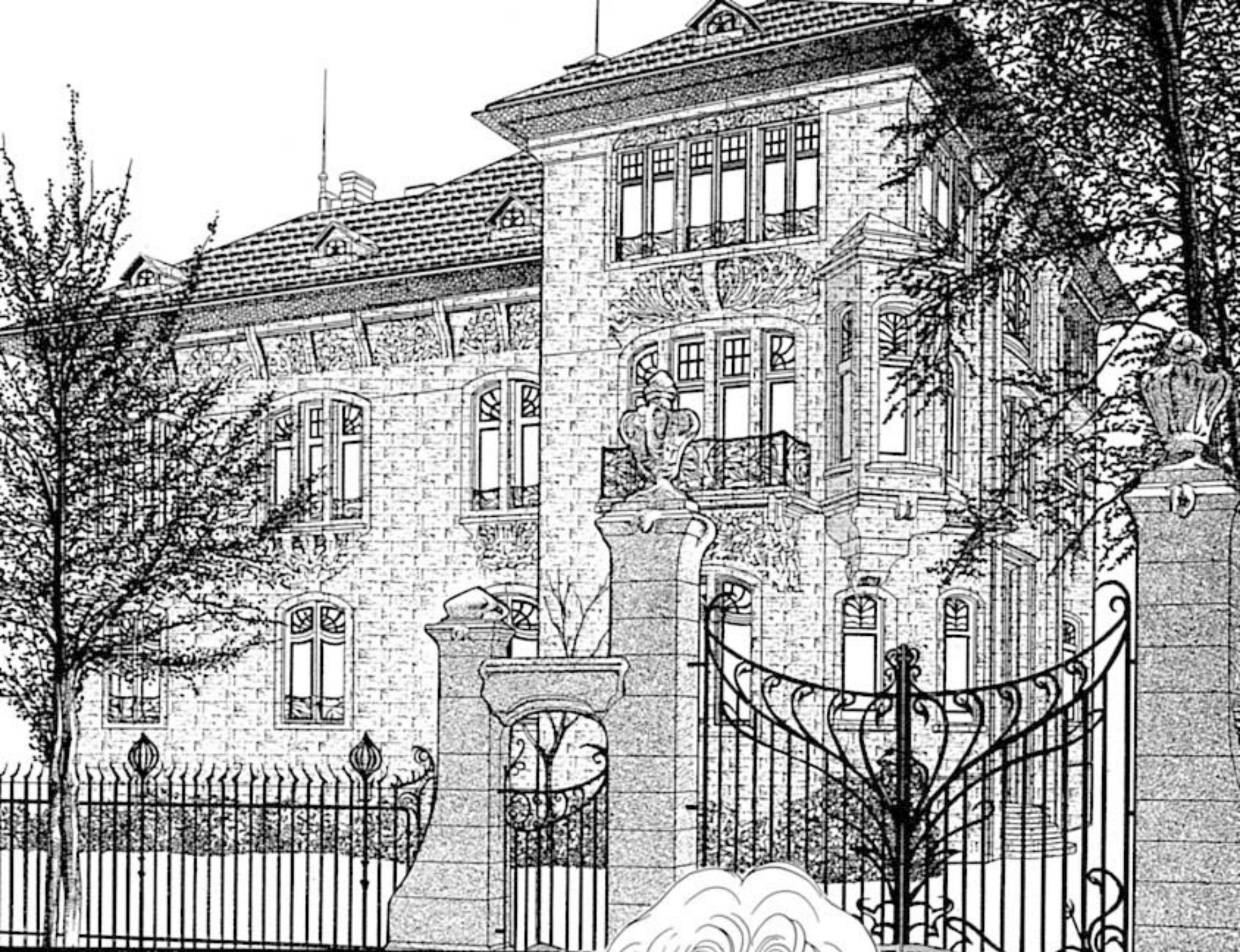
夫婦同伴の  
晩餐会

素敵だわ  
とっておきの  
お洒落をしなくちゃ

彼の妻として  
はずかしくない  
淑女に  
ならなくちゃ







都心から  
車で  
2時間程の  
高級リゾート地

木々に  
囲まれて  
その館は  
あつた

ここだよ  
沙紀子

さあ  
入りなさい







とても良く  
似あっているよ



私  
どこも  
おかしくない？

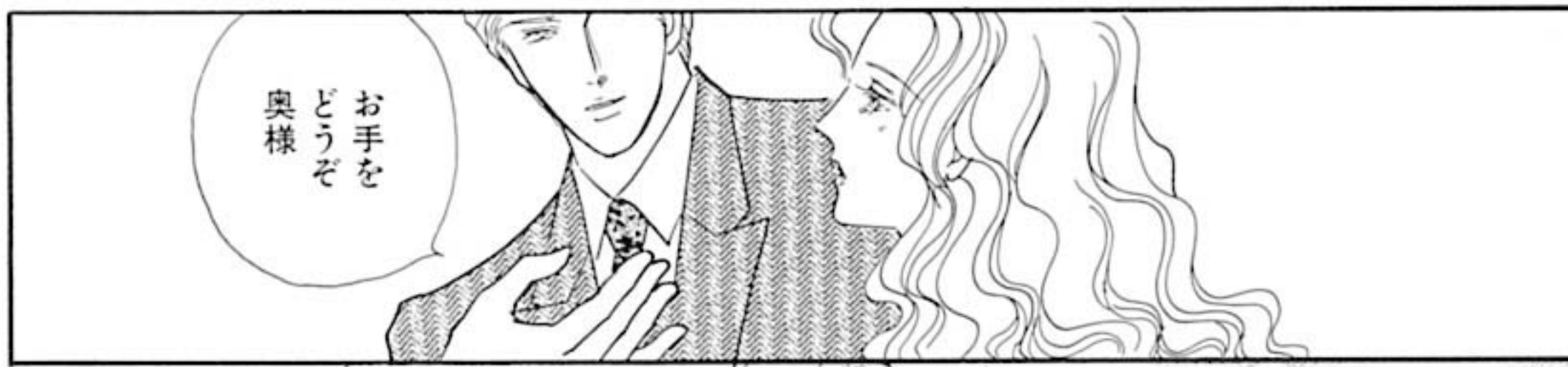
このドレス  
変じゃない？



成俊さん



さあ



お手を  
どうぞ  
奥様



彼の妻として  
晩餐会に  
出席する…

それは私を  
興奮と  
緊張に  
包んでいた



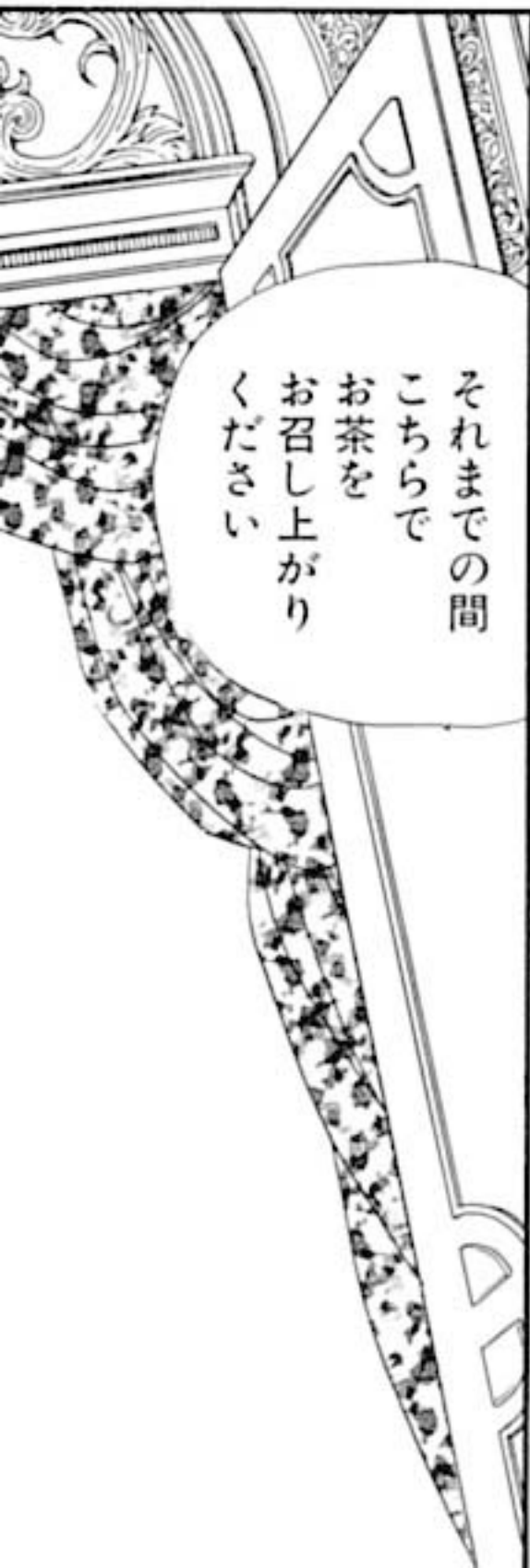


お待ちして  
おりました

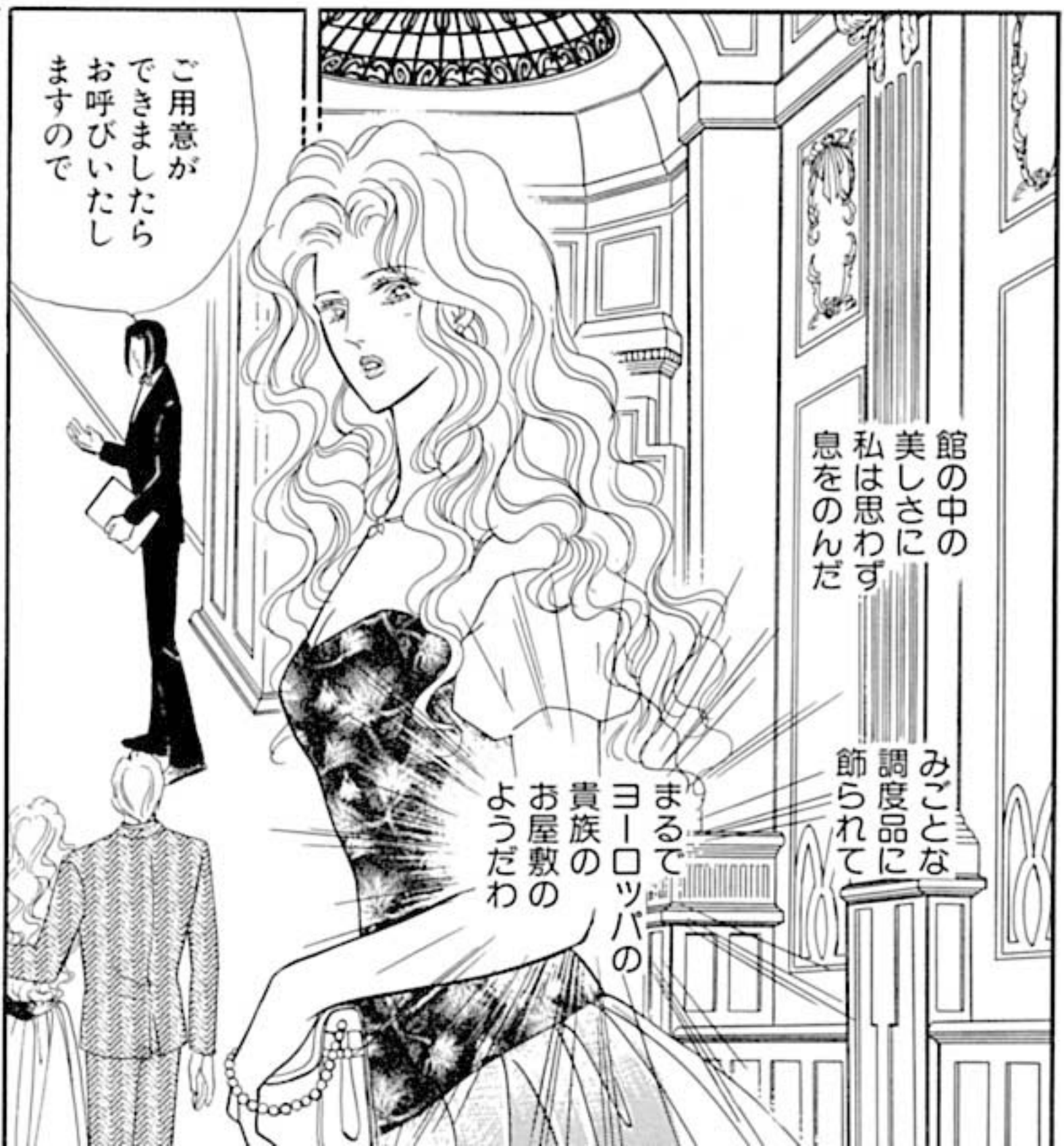
いらっしやいませ  
高柳様ご夫妻で  
ございますね



どうぞ  
こちらへ



それまでの間  
こちらで  
お茶を  
お召し上がり  
ください



ご用意が  
できましたら  
お呼びいたし  
ますので

館の中の  
美しさに  
私は思わず  
息をのんだ

まるで  
ヨーロッパの  
貴族の  
お屋敷の  
ようだわ

みごとに  
調度品に  
飾られて





ひと目で  
地位のある人  
とわかる  
りっぱな紳士

連れの女性は  
皆美しく



サロンには  
すでに  
7・8組の  
男女がいた



ゴージャスだ



私なんかには  
場違いな所に  
来てしまった  
んじゃない？

私は  
体が  
こわばった



きみが  
いちばん  
きれいだよ

成俊さん…

堂々と  
しておいで



沙紀子

私は彼の  
本当の  
妻じゃない

会社の重要な  
ポストにつく  
彼には  
奥様も  
お子さんもいる

私は  
1年前から  
彼の  
愛人だった

ただのOLの  
私には  
手の届かない人に  
思っていた彼が



私を見つめて  
愛していると  
言ってくれた…

それだけで私は  
夢のように  
幸福だった

でも…

彼と  
過ごす時間が  
幸福であれば  
ある程に  
心は欲張りに  
なつていく

もつと  
たくさんの時間を  
一緒にいたい

もつと  
確かなものが  
欲しい

私がこうして  
思っているだけ  
彼も私を  
思ってくれて  
いるの!?

夫婦同伴…という  
晩餐会に  
彼が私を  
連れてきてくれた…

それは  
私を妻のように  
思ってくれている  
証でしょう…

今までに  
彼がくれた  
どんなものよりも  
嬉しい  
プレゼントだった











愛してるよ



...やだ

どうしたの?  
成俊さん



...だって...

こんな所で...



どうしたの?  
ないだろう

本当の  
気持ちだよ



成俊さん

愛してるよ  
僕の沙紀子